

第23回国民文化祭・いばらき2008

文芸祭連句大会

にいはいり筑波の里に句をつなぎ心をつなぐ



2



3



4



1

国内最大の文化・芸術の祭典『第23回国民文化祭・いばらき2008』が、11月1日から9日までの9日間、県内34の市町村で開催されました。筑西市は、文芸祭「連句大会」と美術展「書」の会場として、全国から多くのお客様をお迎えしました。「歴史と文化の香り高いまち・筑西市」で行われた催しや人々の交流の様子をご紹介します。

①会場では約400人が71の座に分かれて連句をつくりました。②見事な狂言で会場を沸かせた、能狂言普及研究会の2人。③市内の小・中学生たちも連句大会に参加。④8日には、市観光ボランティアの案内で吟行会が行われました。⑤全国からの来場者に歓迎のあいさつをする富山県三市長。⑥披露会では、市内の小・中学生の作品も披露されました。

開会前のアトラクションでは、市内の子供たちによる仕舞や狂言が披露され、会場を沸かせました。実作会では、全国から参加した愛好家に混じり、市内の児童・生徒約60人も参加。71の座に分かれて、約400人が和氣藹々^{わきあたたかい}と句作を楽しみました。また、完成した連句の披露会では、晩秋の筑波路を詠んだ句や子供たちの素直で清々しい句が紹介され、会場から大きな拍手が贈られていました。

文芸祭「連句大会」は、11月9日、玉戸のダイヤモンドホールで開催されました。今大会には、全国から過去最高の約870巻の応募があり、文部科学大臣賞や県知事賞などの表彰が行われました。



5



6

国民文化祭筑西市実行委員会会長奨励賞



「筑西市大会がきっかけで、連句づくりを始めました。はじめは難しかったけど、仲良し3人組で楽しくできました。受賞を励みに、より良い作品づくりに挑んでいきたいです」左から、下館一高文芸部部長の池田由樹さん、塚原佑果さん、大和田麻未さん（共に2年生）

平成二十年四月二十一日首 四月二十二日尾 於 文芸部室

半歌仙「追羽根」の巻 大和田麻未 捌

追羽根や万有引力逆らって 大和田麻未
初風に乗る模型飛行機 塚原 佑果
春の服バステルカラーに靡かせて 池田 由樹
類いっぱいの草餅を噛む 麻
泣き声をそっと隠して朧月 佑
ファンデーションにおおう本心 佑
ウふんわりと洗濯物を折りたたむ 佑
赤いタオルは特別にして 佑
伸びすぎた前髪分けてみようかな 佑
十七歳は一度だけです 佑
道場のかげささう青嵐 佑
ギター⁵の弦がぶつりと切れて 佑
振り向けば部屋⁵の窓の月明かり 佑
虫時雨とう大好きな季語 佑
教本にはさむ萩の楓の葉 佑
顧問教師の煙草の煙 佑
花の香りにつつまれ建てり校歌の碑 佑
青空の下ふらこころを漕ぐ 佑

美術展 書

しもだて美術館では、11月1日から9日まで、国民文化祭美術展「書」が開催されました。全国からの応募作品の中から入選作品443点を展示。漢字や仮名、篆刻など力作が並びました。また、同展とあわせて、「茨城書壇代表招待作家展」、市内の小学校から選ばれた作品を紹介する「筑西市立小学校選抜書道展」も行われ、期間中大勢の来場者でにぎわいました。



自分で書いた「書」を軸装にする体験講座も行われました。



国民文化祭応援特別展

- 1 時の蔵「浅香鉄心と書遊」
- 2 中村美術サロン「与謝蕪村資料の特別展示」
- 3 荒川家住宅の特別公開
- 4 ギャラリー・おっこの部屋

市民グループ「下館・時の会」は、田町の時の蔵で、名誉市民で日本芸術院賞を受賞した浅香鉄心先生の作品展を開催。大勢の書愛好家が訪れました。大町の中村美術サロンでは、江戸時代の俳人・与謝蕪村の句選集や市指定文化財の模写図などが特別展示されました。また、田町の国登録有形文化財の荒川家住宅（荒七酒店）が一般公開され、戦前の絵ががきを展示。大町のタイプアートのギャラリー・おっこの室も、県外からの大勢のお客様をお迎えしました。



鮭

おかえりな祭

今年も、たくさんさんの鮭が勤行川に帰ってきました。大橋や新橋などからは、長い旅を終えて、生まれ故郷の川で産卵する鮭を間近で見ることができました。

勤行川の鮭の遡上は、市街地のなかで見ることができるところから、今年は、東京都の台東区や世田谷区の小学生たちが社会科学の授業の一環として、鮭の見学に訪れていました。

11月8日には、紫水ロータリークラブ主催、NPO法人「未来につなごう鬼怒川・小貝川の会」、NPO法人「小貝川プロジェクト21」の共催で「鮭おかえりな祭」が勤行緑地で開催されました。

この日は国民文化祭の吟行会や常総線の「駅からウォーキング」などのイベントも行われたことから大勢の参加者でにぎわいました。会場では、鮭の遡上に関するレクチャーや会員手づくりの「勤行鍋」が無料で振る舞われました。

来年の2月22日には、鮭の稚魚の放流会が行われる予定です。ぜひ、ご参加ください。